

# 日本脳炎 びょうきとワクチン

監修／宮崎千明 先生(福岡市社会福祉事業団)



医療機関名

# 日本脳炎ってどんな病気？



日本脳炎ウイルスの感染で起こります。



ブタなどの体内で増えたウイルスが蚊か（コガタアカイエカ）によって媒介され感染します。人から人へは感染しません。



感染から7～10日の潜伏期間の後、高熱、頭痛、嘔吐、意識障害、けいれんなどの症状を示す急性脳炎になります。



感染者がすべて発症するわけではなく、感染者のうち100～1,000人に1人が脳炎等を発症します。脳炎のほか髄膜炎や夏かぜ様の症状で終わる人もいます。

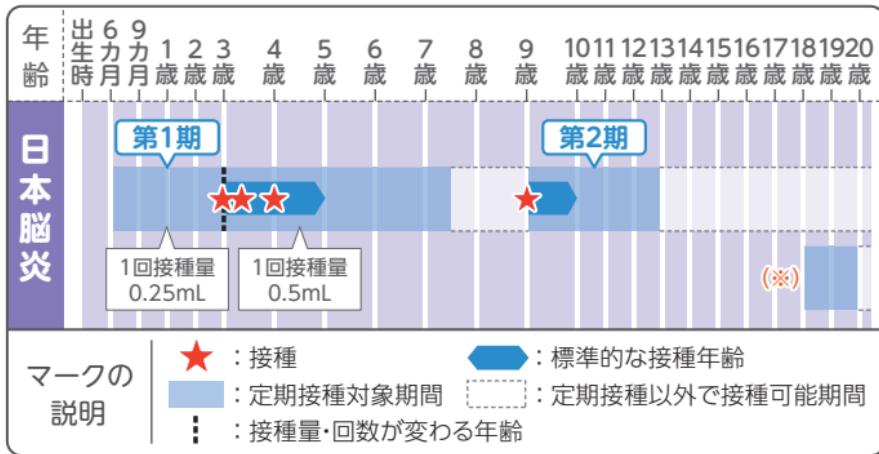


脳炎にかかった時の致命率は約20%～40%、神経の後遺症を残す人が多くいます。



2016年4月1日から北海道でも日本脳炎ワクチンが定期接種になりました。東南アジア、中国、インドなどの旅行に際しても注意が必要です。

# 日本脳炎ワクチンを接種する時期は?



(※)1995年(平成7年)4月2日から2007年(平成19年)4月1日生まれの者で4回の接種が終わっていない者。ただし20歳未満の者に限る。

国立健康危機管理研究機構 日本の予防接種スケジュール(2025年4月1日以降)  
<https://id-info.jihs.go.jp/relevant/vaccine/topics/040/schedule.html>  
(2025年4月閲覧)より引用一部改変

## ワクチンを接種する前の注意点

- 接種当日は朝からお子様の様子をよく観察し、ふだんと変わったところがないかを確認するようにしましょう。
- 母子健康手帳と記入済みの予診票を必ず持参しましょう。
- お子様の日頃の健康状態をよく知っている保護者が付き添うようにしましょう。
- ご心配な点がありましたら、医師またはお住まいの市町村にご相談ください。

# ワクチンを接種したあとは? (副反応)

- 予防接種を受けた後30分以内に、まれに急な副反応が起こる場合がありますので、お子様の様子をよく観察してください。接種後30分程度は医療機関またはその近くにいるか、医師とすぐに連絡をとれるようにしておきましょう。
  - 接種後1週間は副反応の出現に注意しましょう。
  - 接種部位は清潔に保ちましょう。接種当日の入浴は可能ですが、接種部位をこすることはやめましょう。
  - 接種後は普段どおりに生活ができますが、はげしい運動は避けてください。
  - 接種後、接種部位の異常な反応や体調の変化があった場合は、速やかに医師の診察を受けてください。
- 日本脳炎ワクチンの副反応**
- 副反応の主なものは発熱、咳嗽(せき)、鼻漏(鼻みづ)、  
注射部位の紅斑などです。  
またまれにショック、アナフィラキシー、急性散在性脳脊髄炎(ADEM)、けいれん、血小板減少性紫斑病、脳炎、脳症がみられることがあります。
- 接種後の異常な反応や体調の変化があった場合はすみやかに医師の診察を受けましょう。



武田薬品工業株式会社